

林野庁 プレスリリース

1月11日	「地方農政局長・森林管理局長等会議」の開催について
1月19日	「平成22年度 第2回 林政審議会 施策部会」の開催及び一般傍聴について
1月19日	鹿野農林水産大臣の木材関連施設の視察について
1月21日	林政審議会の開催及び一般傍聴について
1月21日	<2011 国際森林年関連事業>「第9回 国連森林フォーラム(UNFF9)」の開催について
1月28日	<2011 国際森林年関連事業>「第9回 森の“聞き書き甲子園”フォーラム」の開催について

森林管理・経営技術者 研修が開催されました

1月31日から2月4日までの5日間、東京都八王子市の森林技術総合研修所などにおいて、森林・林業再生プランの実現に向け、森林計画の基本構想策定演習や林業専用道の設計・施工に係る現地実習などが行われました。

研修生の森林管理局職員は、経営計画コースと林業専用道コースに分かれ、10年以上の長期的視点で、一定のまとまりを想定して事業量や作業システムのあり方を決定する演習、林業専用道の工法やコストを検討する現地実習などを学びました。



林業専用道コース講義(左)と経営計画コース講義(右)の様子



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

サステナブル・フォレスト・ギャラリー
Sustainable Forest Gallery 2011
～きこりんの森～

国際森林年 記念ステージが 開催されました

一口メモ
林野庁

1月15日、2011年は国連が定めた「国際森林年」をPRするイベントがJR有楽町駅前に設けられた特設ドームで開催されました。鹿野農林水産大臣は、国際森林年記念ス



Sustainable Forest Gallery 2011
オープニングセレモニー

テージ「Sustainable Forest Gallery 2011」に出席、講演し、「国際森林年を第一歩として今年を森林・林業の再生元年にしていきたい」と表明。

イベントは住友林業(株)、林野庁、(社)国土緑化推進機構の共催で行われました。地球温暖化防止策としての森林の役割や、適度な間伐などで持続可能な森林経営を行うことの大切さをパネル展示などで訴えました。

記念ステージで住友林業の市川晃社長は、国産材の利用を拡大することで森林の適切な管理や更新が進む

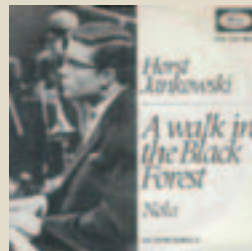


とし「CO₂吸収の促進につながる」と話し、フリーアナウンサーの草野満代氏は「生活の中でできる範囲で木を使いたい」という思いを伝えました。

国際森林年 記念シリーズ②

森の音楽

『森を歩こう/A WALK IN THE BLACK FOREST』
(ホルスト・ヤンコフスキー)



ドイツのジャズピアニスト、ホルスト・ヤンコフスキーが1965年に作曲。軽快なリズムの爽やかな曲で、森を歩いているイメージが曲調に表れています。「ホルスト・ヤンコフスキー」で検索すれば、インターネットで試聴できますので、一度聞いてみませんか。